

項目	内容
名称	テンニンカ [英]Rose myrtle、Downy myrtle、Downyrose myrtle [学名]Rhodomyrtus tomentosa
概要	フトモモ科の常緑低木。沖縄諸島の山野、中国南部～マレーシア、インド、オーストラリアに分布する。枝先に淡紅色の花をつけ、果実は暗紫色で生食されるほか、ジュースやジャムの原料に使われる。また果実は中医方で山稔子と呼ばれ妊婦の貧血、止血剤として、葉や根は頭痛、腹痛などに使用されてきた。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	果実にスチルベン誘導体 (スチルペノイド)、トリテルペノイド、ピセアタンノールを含む (103)。
分析法	テンニンカ果実のエタノール抽出物を合成吸着剤カラムクロマトグラフィーで溶出した後、順相シリカゲルクロマトグラフィー及び逆相シリカゲルクロマトグラフィーによりピセアタンノールを分離精製している (104)。
有効性	

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒト生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
で脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
の免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
評価骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS). (101) 世界有用植物事典 平凡社 (102) 食べられる野生植物大事典 橋本郁三 柏書房 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)